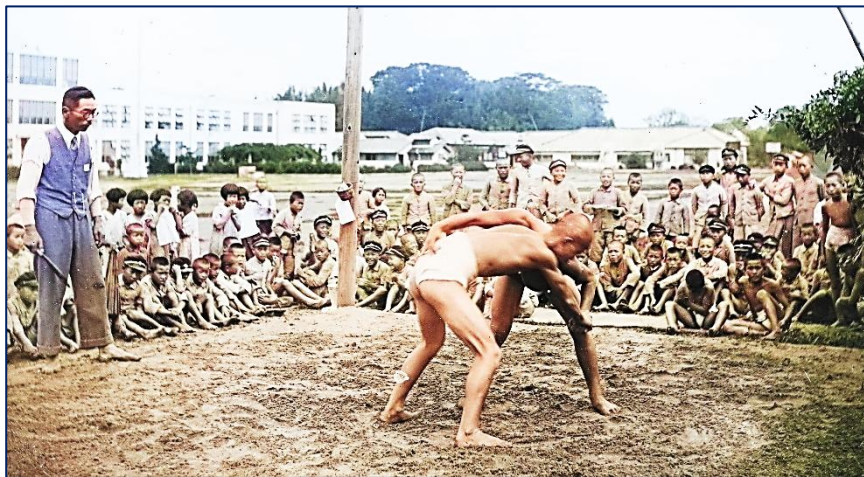
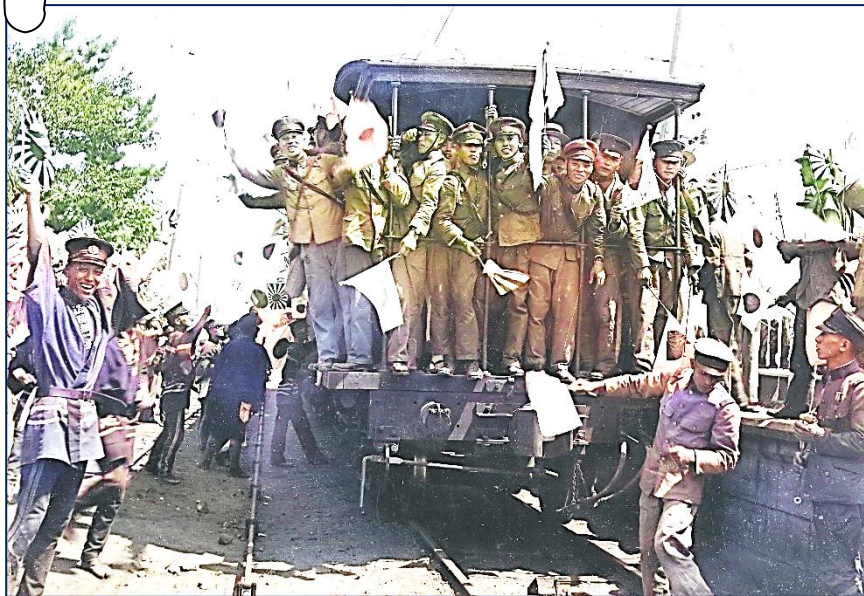


豊郷町隣保館だより

2026年5月22日発行 豊郷町隣保館 ☎0749-35-0611 No.265



『戦時中の写真AI』でカラーに

『モノクロの写真が鮮明にみえる』

私たちの豊郷町は、一九五六（昭和三十一）年犬上郡豊郷村と愛知郡日枝村が合併して、犬上郡豊郷村となりました。その後、一九七一年に町制が施行し、現在に至っています。

一九三七（昭和一二）年に建てられた豊郷小学校は、当時「白亜の殿堂」「東洋一の小学校」と言われていました。今も旧校舎群として、その存在は国内外に知れ渡っているところです。

上記の写真は、豊郷小学校が建設された当時、ボイラーマンとして勤務していた、秦莊出身の方が『ガラス乾板』という手法で撮影されたものです。

『ガラス乾板』とは、フィルムが登場する前、主に明治から一九三〇年代（昭和初期）まで使用された、ガラス版を基盤とした写真用感光材料（ネガ）です。ガラスなので、割れやすく、重くてかさばるというデメリットがありますが、フィルムに比べて歪みがなく、非常にシャープな描写が可能となり、長期の保存にも耐えうるものとされています。そのため、比較的良好な状態で戦時中を過ごした人たちの写真が数多く残されています。

あの時代に、重くて大きなガラス乾板を担ぎながら、子どもから高齢者の方まで豊郷に暮らす多くの人々を写した貴重な写真からは、ボイラーマンとしてだけでなく、地域の人たちとの関係性を育んでこられたお人柄も表れていると思います。

今回、データ化したモノクロ写真をカラー化しました。当時の豊郷小学校を中心とした六〇点を近日中に隣保館で展示しますので、関心のおあ

